

次期金沢版総合戦略の策定について

次期金沢版総合戦略の位置づけ

金沢市

国

上位
構想

金沢市都市像
「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」
～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

デジタル田園都市国家構想

上位
計画

未来共創計画

デジタル田園都市国家構想総合戦略

計画の反映
数値目標・KPIの設定

デジタルの力を活用した
社会課題解決

金沢の個性や強みに加え、デジタルの力を活用し、
人口減少・少子高齢化の抑制、東京一極集中の是正を図る

若い世代に優しく
子育ての喜びを
分かち合う
まちをつくる

金沢の強みを生かし
人々が愛着を持ち
集うまちをつくる

イノベーションにより
産業と雇用が
創出される
まちをつくる

周辺地域と連携し
心地よく暮らしやすい
まちをつくる

真の地方創生の実現

次期
金沢版
総合戦略

次期金沢版総合戦略の概要

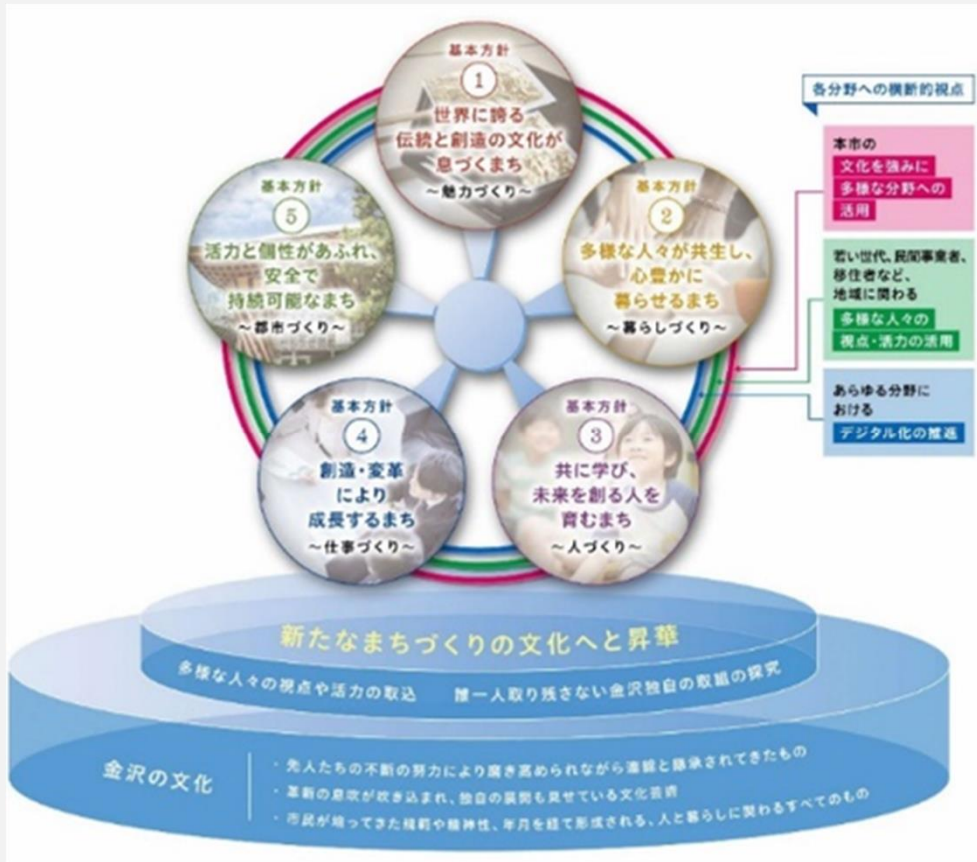
■名称

第3次金沢版総合戦略

■策定のポイント

(1) 金沢市都市像及び未来共創計画の策定を踏まえて

- 本市まちづくりの指針である金沢市都市像の実現に向けた「未来共創計画」を反映
- 市民の評価を計画の実践に生かしていくため、市民アンケートに基づく数値目標やKPI（重要業績評価指標）を新たに設定

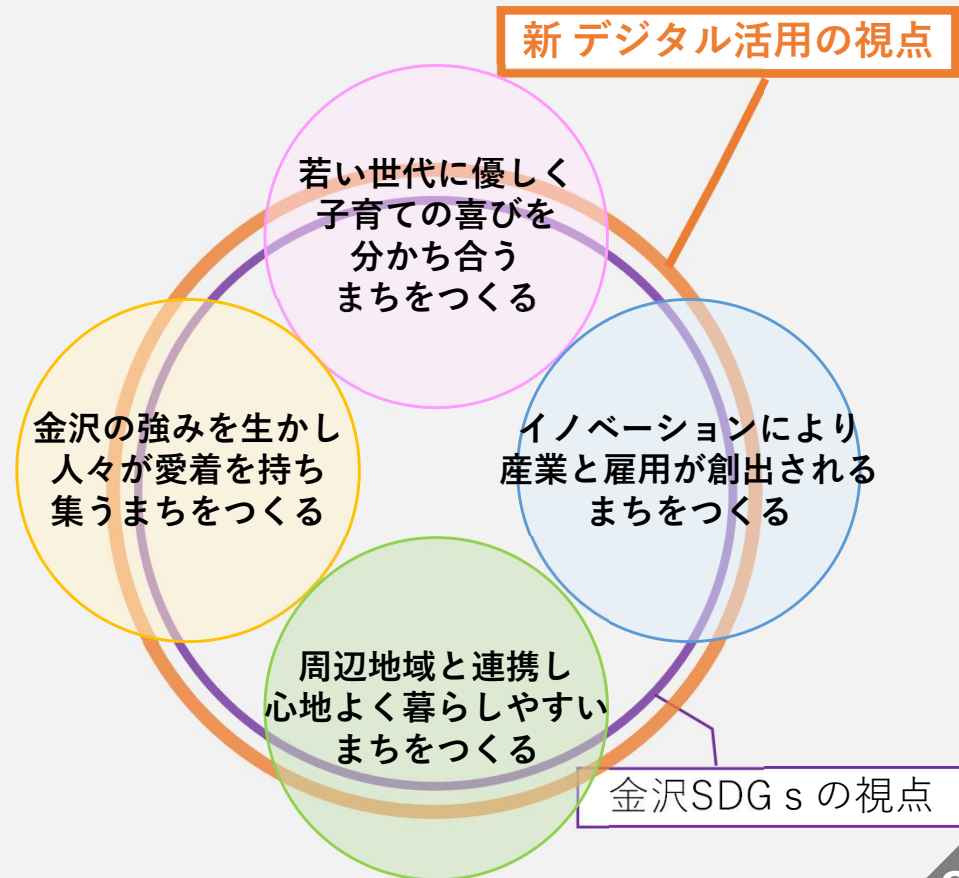


■推進期間

令和6(2024)年度から令和10(2028)年度の5年間

(2) デジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえて

- 4つの基本目標は維持し、新たに**デジタルの力を活用した社会課題解決に向けた横断的な視点**を追加
- 特にデジタル技術を活用した取組の推進においては、**金沢市DXアクションプランと連携**



基本目標 1 若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合うまちをつくる



【数値目標】

新◆子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じる市民の割合 **47.5%**(R5) → **59%**(R10)
◆合計特殊出生率 **1.35**(R4) → R6年度国長期ビジョン、市人口ビジョン改訂に合わせて再設定

【主な取組】 1/2

(1) 妊娠から出産・育児までの期間を安心して過ごすことができる環境づくり

- 地域の関係機関と連携した切れ目のない子育て支援を実現するため、「かなざわ育みネットワーク」の連携を強化

未来共創 新・より身近な小学校区において地区担当保健師が地域に出向き、まちの子育て保健室として相談に応じることで、妊婦や保護者とのつながりを強化

デジタル 新・専用アプリを通じて、子育て支援サービス等の助成クーポンの交付やイベント等の情報発信を実施

未来共創 新・医療的ケア児等コーディネーターを中心に医療・福祉・教育等関係機関と連携し、包括的な支援体制を整備

未来共創 新・市の公式LINEを活用してひとり親家庭に対し支援情報の発信や様々な質問に24時間対応するサービスを提供

デジタル



(2) 結婚の希望をかなえるための環境づくり

- 若者の結婚に対する関心・意欲の向上を図るため、金沢の文化や自然を楽しく学び、体験できるイベントを開催

未来共創 新・無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消や男性を含む働き方・制度の見直し等を通じて、企業における女性が活躍できる環境の整備を推進

未来共創 新・女性活躍の推進に取り組む事業所等を構成員とした官民一体のネットワーク組織を構成し、女性の活躍推進に関する取組を発信

【主な取組】 2/2

(3) 仕事と家庭の両立や地域活動への参画を促進する働き方改革の推進

- 雇用環境の改善や雇用問題の解決に積極的に取り組み、成果をあげている企業を優良事業所として表彰

未来共創 新 **デジタル** 中小企業を対象に、育児や介護等で離職した従業員を元の職場で再雇用する制度を導入し、対象者を再雇用した場合に助成金を交付。さらに再雇用後の対象者へリスキリング※を実施した場合に加算

未来共創 新 **デジタル** 市内居住者又は市内事業所に勤務する方を対象に、大学等が実施する社会人向けリスキリング講座の受講に係る費用を助成

デジタル 企業における多様な働き方に対応するため、本市都心軸等において、サテライトオフィスを開設する企業を支援

※リスキリング：新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキル的大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する（させる）こと

【主なKPI】

新 まちの子育て保健室開設地区数
11地区(R5) → **53**地区(R7)

デジタル 子育てアプリのダウンロード数（累計）
14,593件（R4年度までの累計） → **30,000**件（R10）

未来共創 新 職場や家庭において、性別等に関わらず誰もが共に活躍できる環境が整っていると感じる市民の割合
48.2%(R5) → **60%**（R10）

未来共創 新 働きがいや生きがいを感じている市民の割合
65.5%(R5) → **72%**（R10）

未来共創 はたらく人にやさしい事業所表彰企業数（累計）
67社（R4年度までの累計） → **107**社（R10）



【主な取組】 2/2

(4) 金沢と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大

未来共創 **新**・ 民間の視点や活力を生かし、関係人口の創出につながるモデル事業を実施

未来共創
デジタル **新**・ 関係人口の創出に向けて、SNSを活用し、市外在住者向けの金沢の魅力的な情報を発信

【主なKPI】

デジタル **新**・ 移住支援金（テレワーク）を活用した移住者数（累計）
54人（R4年度までの累計） → 350人（R10）

未来共創 **新**・ 多様な人々の交流・活躍により、地域が元気になっていると感じる市民の割合
43.6%（R5） → 55%（R10）

新・ 学生の地域コミュニティ連携促進事業数（累計）
R5年度開始 → 15事業（R10）

デジタル **新**・ ジュニアかなざわオンライン検定の対象児童生徒数に対する受検率
19%（R5） → 25%（R10）

未来共創
デジタル **新**・ デジタルミュージアムのビュー数
R5年度運用開始 → 123,000ビュー（R10）

デジタル **新**・ ふるさと納税寄付受入件数
19,363件（R4） → 30,000件（R10）

基本目標3 イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる



【数値目標】

新◆金沢の産業が活性化していると感じる市民の割合 **48.6%**(R5) → **53%** (R10)

◆金沢地域の観光入込客数 **864**万人 (R4) → **1,138**万人 (R10)

【主な取組】 1/2

(1) 金沢の文化と産学官の叡智の融合

未来共創 新・最先端技術を活用して新たなビジネスを展開する者及び金沢固有の文化である食と工芸に付加価値を生み出す者の支援や、独創的で卓越した知識及び技能を持つ子供の育成を支援

未来共創 新・石川県情報システム工業会と連携し、ITビジネスプラザ武蔵に次世代ICT人材の育成拠点機能を構築
デジタル

未来共創 新・女性起業家を対象に、全国規模で活躍する女性起業家や事業を加速させる協力者・支援者とマッチングする場と機会を提供する実践プログラムを実施

(2) 持続可能な観光の振興

未来共創 新・中世から近代を通して発展・継承されてきた金沢独自の歴史的庭園の保存活用を推進し、魅力を内外に広く発信

デジタル 新・人流データを活用した観光スポットの快適度予測マップの配信により、安心安全で快適に観光ができる環境を提供

未来共創 新・宿泊データの収集・分析を行う仕組みの構築を行うとともに、地域全体のデジタルマーケティングを進め、データに基づいた持続可能な観光経営を推進
デジタル



(3) 金沢ブランドを活用した独自産業の創出

デジタル 新・地元農林水産物の消費拡大を図るため、中央卸売市場を経由する地元農林水産物の情報をSNSで発信

未来共創 新・「KOGEI Art Gallery 銀座の金沢」や「金沢・クラフト広坂」において、工芸品の展示販売や作り手の紹介等イベントを定期実施



【主な取組】 2/2

(4) 多様な主体との連携による新分野産業の創出

未来共創 **新**・ 海外販路開拓のノウハウを学ぶ中小企業向けのセミナーや個別相談を実施

未来共創 **新**・ 市内中小企業・小規模事業者等のDX化を進めるため、デジタル技術に精通した専門人材を配置し、
デジタル 身近に相談できる窓口を開設

デジタル **新**・ ITビジネスプラザ武蔵に最先端技術を活用したデジタル機器の展示・体験スペースを設置するとともに、体験型のワークショップを開催

【主なKPI】

新・ 金沢未来のまち創造館メンバーシップ登録者数（累計）
346者（R4年度までの累計） → **1,269**者（R10）

未来共創 **新**・ 創業支援等事業計画に基づき支援した創業者数（累計）
954人（H26～R4年度までの累計） → **1,608**人（R10）

未来共創 **新**・ 先端デジタル技術を活用し、新たに取り組む実証実験・社会実装の事業数（累計）
デジタル R5年度開始 → **12**事業（R10）

未来共創 **新**・ 金沢の食文化や工芸の魅力が、世界に知られている、認められていると感じる市民の割合
62.2%（R5） → **68**%（R10）

未来共創 **新**・ 金沢旅行の満足度
95.3%（R4） → **95**%以上を維持（R10）

未来共創 **新**・ 地元農水産物が、金沢の誇れる地域資源だと感じている市民の割合
82.6%（R5） → **87**%（R10）

基本目標4 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる



【数値目標】

新◆行政サービス等におけるデジタル化が進んでいると感じる市民の割合
35.3%(R5) → 60% (R10)

◆石川中央都市圏における連携事業数 95事業 (R5) → 110事業 (R10)

【主な取組】 1/2

(1) 圏域連携による経済・生活圏の形成

- 未来共創 新**・ 圏域内のスムーズな移動の確保に向け、地域公共交通計画に基づき、持続可能な交通ネットワークを構築
- デジタル** ・ 石川中央都市圏の子育て情報が簡単に検索・確認できる子育てアプリの拡充

(2) コンパクトシティの形成

- 未来共創 デジタル 新**・ 公共交通の利便性向上を図るため、新技術を活用した移動サービス（金沢M a a S※）の更なる拡充を推進
- 未来共創 デジタル 新**・ ポートエリアや台数の拡充、金沢M a a Sとの連携によって、公共シェアサイクル「まちなり」の利便性を向上
- 未来共創 新**・ 民間活力による広場等の空間を生かした都心軸の賑わい創出活動を支援

本市が目指す交通ネットワークのイメージ



(3) コミュニティ環境の充実

- 未来共創 デジタル 新**・ 地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」を活用し、課題の可視化と解決に向けた協働を推進
- 未来共創 デジタル 新**・ 町会活動のICT化を推進し、地域コミュニティの活性化と効率化を促進

※M a a S : Mobility (移動) as a Serviceの頭文字で、すべての交通手段を1つのサービスと捉える新たな「移動」の概念



【主な取組】 2/2

(4) 元気な中山間地域の形成

- 未来共創 新**・「植える・育てる・伐る・使う」の循環を再構築し、人の交流、林業支援、木材活用、人材育成、情報発信の拠点となる施設を整備
- 未来共創 デジタル 新**・森林施業の効率化及び省力化のため、航空レーザにより樹種や資源量等の森林情報を取得し、林業事業者等に情報を公開
- 未来共創 デジタル**・農業の省力化・生産性の向上のため、ICT等を活用したスマート農業の現地普及を促進



(5) あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり

- 未来共創 デジタル 新**・IoTを活用し、認知症高齢者が行方不明になった際の早期保護や身元確認につなげる地域住民協力型の見守りネットワークを構築
- 未来共創 改**・市民ボランティア（フレイルサポーター）によるフレイルチェックを定期的を実施し、高齢者の健康づくり活動を促進

新 (6) 誰一人取り残されない持続可能なまちづくり

- 未来共創 デジタル 新**・介護業務の負担軽減等を図り、安全・安心な福祉サービスの提供等を推進するため、介護・障害福祉サービス事業所等における介護ロボット等の導入を支援
- 未来共創 新**・「共生社会を推進する金沢共同宣言」の実施に伴い、障害を理由とする差別の解消や事業者の合理的配慮の提供に関する理解を促進
- 新**・太陽光発電設備や蓄電池を導入する事業者を支援
- デジタル 新**・図書館カード等のカード類をスマートフォンに集約する独自のサービス基盤を構築
- 未来共創 デジタル 新**・窓口における手続きをスムーズにし、市民の利便性を高めるとともに、事務の効率化を図るため、デジタル手続きによる窓口受付を実施

基本目標 4 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる



【主なKPI】

- 未来共創** **新**・市内の多様な公共交通の利用環境が良いと感じている市民の割合
39.7%(R5) → **50%** (R10)
- 未来共創** **新**・シェアサイクル「まちのり」の利用者の満足度
デジタル **94.6%** (R4) → **95%以上**を維持 (R10)
- 未来共創** **新**・中心市街地に魅力を感じている市民の割合
60.7%(R5) → **67%** (R10)
- 未来共創** **新**・まちづくり活動や地域活動に参加する市民の割合
52.9%(R5) → **58%** (R10)
- 未来共創** **新**・地域活動発信アプリを活用している校下(地区)数
デジタル **40**校下(地区) (R5) → **62**校下(地区) (R8)
- 未来共創** **新**・スマート農業機械の導入支援台数(累計)
デジタル R6年度開始 → **60**台 (R10)
- 未来共創** **新**・介護分野や障害福祉分野においてロボットやICTを活用し、生産性の向上を推進した事業所数(累計)
デジタル **5**事業所 (R4年度までの累計) → **35**事業所 (R10)
- 未来共創** **新**・性別、国籍、障害の有無などが異なる多様な人々が、共に暮らしやすいまちだと感じている市民の割合
34.9%(R5) → **44%** (R10)
- 未来共創** **新**・温室効果ガス排出量
3,537千t-CO2 (H25) → **2,000**千t-CO2 (R10)
- デジタル** **新**・市が発行するカード類のスマートフォンへの統合件数
R5年度開始 → **10**件 (R10)

参考 令和5年第1回第2次金沢版総合戦略推進委員（骨子案とりまとめ）での主な意見と対応

基本 目標	意見	対応
1	<p>（川端委員）子育ての支援は手厚いが、生涯未婚率が上がってきている状況を改善しなければ、人口を増やしていくのは難しい。</p> <p>（長谷川委員）若い女性には、結婚や出産によって仕事が続けられなくなるかもしれないという懸念があり、企業側の子育てに対するバックアップやキャリアアップできる仕組みづくりとともに、男性の家事育児への意識を高めることが必要である。</p> <p>（谷口委員）結婚の希望をかなえるには、賃金の上昇や時間外労働の削減も必要であり、男性の育児参加には、企業側が男性の育児参加に対して寛容であることも求められる。</p>	<p>女性活躍推進施策を追加。その他男性の育休取得促進施策、働き方改革推進は継続して実施</p>
2	<p>（稲継委員）首都圏ではテレワークが活発で、出社は週に1回でよいという企業が増えている。金沢は東京から2時間半で行けるので、テレワークで働く人たちに移住してもらい、その人たちが金沢の経済を潤すような循環ができればよい。</p>	<p>テレワーク移住支援を追加。その他首都圏企業のサテライトオフィス開設支援は継続して実施</p>
2	<p>（松村委員）オンラインとオフラインを組み合わせることで、交流の幅を広げ、関係人口の創出・拡大につなげることができる。</p>	<p>民間活力やSNSを活用した関係人口創出施策を追加</p>
4	<p>（中川委員）町会活動について、班長などの役職の担い手が減っていく中で、回覧や集金などの作業が煩雑であることが課題となっており、そうしたところのデジタル化も進めてほしい。</p>	<p>町会活動のICT化を追加</p>
4	<p>（中川委員）福祉施設では人手不足で入居待ちが発生していると聞く。デジタル技術の活用により担い手不足解消につなげてほしい。</p>	<p>介護ロボット導入支援を追加</p>
4	<p>（山田委員）脱炭素化に取り組めない中小企業への支援も必要ではないか。</p>	<p>事業者の脱炭素支援を追加</p>
4	<p>（稲継委員）最終的には市民のウェルビーイングを高めることがデジタル化のミッションであり、高齢者などデジタルデバイド（情報格差）のある方を含め、誰一人取り残されないよう取り組むべきである。</p> <p>（前委員）デジタル化は今後進められていくと思うが、それを伝えるのも「人」であり、デジタル化の推進とともに、「人」を大切にするという思いをもって取り組んでほしい。</p>	<p>町会活動のICT化事業で地域デジタルリーダー育成講座を実施</p>